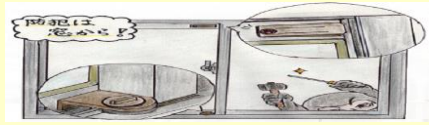
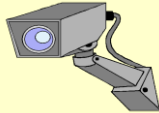
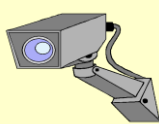


稲沢市内における身近な事件の発生状況

令和7年4月末時点（暫定値）

稲沢警察署 0587-32-0110

事件（被害）内容	発生件数（前年同月比）	犯行の手口	防犯対策例
①住宅等に侵入される被害  	26件（－1）	 ・12件が空き巣被害 ・侵入場所の約6割が「窓」  「空き巣」とは、家人等が不在の住宅に侵入し、金品を窃取する犯行手口です。	  C Pマークのついた窓ガラスの導入や、窓ガラスに補助錠を設置するなどして家屋の防犯性能を向上 
②車載品の盗難被害  	7件（－4）	 ・4件が無施錠での被害 ・住宅駐車場での被害が約3割  車内に置かれた金品等を犯人は狙っています。	   車内に金品を置いて離れない  防犯ブザーの設置、防カメ等設置の駐車場への駐車
③車両部品の盗難被害  	6件（－4）	 4月中、ナンバープレートが被害（2件）  盗まれたナンバーは別の犯行に使用される可能性があります。	  ナンバープレート盗難防止ネジの取付け、交換後のタイヤ等は施錠設備のある倉庫等に保管 
④自動車の盗難被害  	15件（＋8）	 4月中、プリウス3台、ランクル1台、アルファード1台等が被害  県下ではランクル（プラド含む。）、プリウス、アルファード等が多く被害に遭っています。	  純正+αのセキュリティ対策（ハンドルロック、GPS等の秘匿搭載、イモビの追加） 
⑤自転車の盗難被害  	49件（－11）	 4月中、10件の被害のうち約7割が無施錠  約4割が駐駐輪場の被害、自宅や店舗駐輪場等においても被害が発生しています。	   自宅でも施錠、ソーロックの実施、防犯カメラが設置されている駐輪場等を利用 
⑥振り込め等の特殊詐欺   	6件（－2） （令和6年発生総数20件） （令和5年発生総数16件） （令和4年発生総数7件）	 警察官を騙る人物にキャッシュカードを手渡ししてしまい現金を引き落とされる被害等が発生  息子を騙る手口、キャッシュカードを受け取りに来る手口、還付金名目など様々な手口に注意	   留守番電話設定の活用、防犯機能付電話の設置（詐欺の約8割が自宅固定電話への架電） 

備考1：令和6年の稲沢署管内刑法犯総認知件数826件（－49）、備考2：令和7年4月末時点の刑法犯総認知件数253件（－20）

過去5年間の交通事故分析結果



令和2年～令和6年までのデータに基づく、交通事故分析システムによる分析結果です。

分析結果

- ・人身事故は南大通り周辺で多発
- ・死亡事故は市内全域で発生
- ・死者の約7割が高齢者
- ・死亡事故の約7割が交差点で発生



令和7年の発生状況

4月末時点（ ）内は前年同月比

		稲沢署管内	
		月間	年間
人身 (人)	死亡	0 (±0)	1 (-1)
	重傷	0 (-1)	6 (±0)
	軽傷	33 (+2)	135 (+38)
	合計	33 (+1)	142 (+37)
物損 (件)		327 (+35)	1206 (+15)

備考 令和6年の稲沢署管内の死亡事故者数2名

人身事故多発時間



- ・ 7時～8時
- ・ 17時～18時



人身事故多発地域



枠内



死亡事故発生場所



印地点

事故防止のポイント



【ドライバー】

- ・ 早めのライト点灯、ハイビームの活用
- ・ 「かもしれない」運転の心掛け



【自転車】

- ・ 一時停止、安全確認の徹底
- ・ ヘルメットの着用



【歩行者】

- ・ 無理な横断をしない
- ・ 明るい服装、反射材の活用



交通違反を犯さないことが、交通事故の防止につながります。



横断歩行者妨害



一時不停止



信号無視



自転車の違反

